令和４年度

自己点検・自己評価

富山リハビリテーション医療福祉大学校

自己点検・自己評価

評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④　3　2　1
・学校における職業教育は実践されているか	④　3　2　1
・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4　③　2　1

①課題・改善点

理念や学園の教育方針・目標を設定している。
体験入学時に学校の姿勢を伝えている。入学後は新入生研修において新入生に伝え、その後も学生のしおりを配布、また面談やホームルームなどで定期的に学生に伝えている。

②今後の方策

学生に伝えることや振り返りや理解を継続していく。
また、学生のみならず理念や学園の教育方針・目標について全職員が理解を深め、本校の教育についての基盤を固め学生への周知に努めなければならない。

（２）学校運営

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4　③　2　1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4　③　2　1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4　③　2　1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4　③　2　1
・意思決定システムは確立されているか	④　3　2　1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4　③　2　1

① 課題・改善点

大枠としての組織図に沿った業務分掌と責任区分はある。いくつかにまたがる業務では、責任区分が不明瞭になり、業務負担量についても教職員から定期的にモニタリングを継続する必要がある。
Desknets運用で会議資料の一元化、ペーパレス化、迅速な情報共有が可能となっている。
目標達成シートの運用により、人事考課がスムーズとなった。

②今後の方策

業務分掌の細分化、担当統括の明確化、教職員の業務内容については継続していく。
教職員からの意見および外部の評価委員の見解を踏まえてPDCAサイクルを継続していく。

（３）教育活動

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④　３　２　１
・修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④　３　２　１
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④　３　２　１
・授業評価の実施・評価体制はあるか	４　３　②　１
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	４　③　２　１
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
・資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④　３　２　１
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④　３　２　１
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　③　２　１

① 課題・改善点

学生、教員間による授業評価をgoogle classroom を通じて実施したが、教科によって回答率のばらつきが継続して見られた。
教職員への研修目的で外部講師が講演を行った。
コロナ禍継続によるオンライン授業にて学生の学びの程度のフィードバックが難しい事があった。

② 今後の方策

授業期間の中間時期で行う、授業中間評価を試験的に導入していく。心理的不安や不安的が多くなっている傾向のため、学生の心理的サポートができる仕組みやサポートに必要な知見などを研修会に組み込んでいく。また、このような学生のクラス担任をサポートできる仕組みも検討していく

（４）教育成果

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・就職率の向上が図られているか	④　３　２　１
・資格取得率の向上が図られているか	④　３　２　１
・退学率の低減が図られているか	４　３　②　１
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	４　③　２　１

① 課題・改善点

就職率は100%、国家試験合格も100%であったが、国家試験の難易度が年々上がり、新科目も試験問題となるために、この対策は必要と考えている。
一定数の退学者があり、これに対する対応は継続している
在校生の社会的活躍および評価については、概ね把握している。

②今後の方策

国家試験の対策は、リハ校全体で各教員の専門分野を駆使して包括的に対策を行う。学業不振で退学に至る学生については、試験以外の学習プロセスの評価、早期から面談による学習面の不安の聴取など、多様な対応を行っていく。

（５）学生支援

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④　３　２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４　３　②　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	４　③　２　１
・保護者と適切に連携しているか	④　３　２　１
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	４　３　②　１

①課題・改善点

経済的に不安を抱えている学生については修学資金や日本学生支援機構など、既存の奨学金の情報を提供している。学費の分割納入などにも対応し、相談に応じる体制を整えている。
４年次対象の学園独自の特別奨学金制度にて経済的にサポートする環境がある。
学生相談については、担任との面談を通して学習指導や悩みにアドバイスをしているが、その時間が十分確保できない状況がある。
保護者とは、常に緊密な連絡をとり学校生活や成績に関する不安の解消に努めている。

② 今後の方策

継続して奨学金希望者が増加している現状を鑑み、別の奨学金制度を調査、対応する必要がある。富山県や市町村の修学資金制度や、学園独自の奨学金制度について周知していく。
担任だけでなく、複数の教員から学生をサポートできる支援体制を構築していく必要がある。
必要に応じて、学生と教員では、力関係があるため、それとは別に外部からの相談員等の配置も考慮する必要性がある。

（６）教育環境

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④　３　２　１
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④　３　２　１
・防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

①課題・改善点

防災などにおける学生への危機管理意識を高めることが必要である。

②今後の方策

防災設備を訓練によって非常時に使用できるように繰り返し指導していく。

（７）学生の受入れ募集

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	４　③　２　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

①課題・改善点

体験入学やイベント、高校へのガイダンスなどを魅力あるものにすることや他校との違いをアピールしている。体験入学やイベントに体験生が参加しやすい方法を検討し実施している。
全教員及び在学生が学生募集への取り組みに参加している。
また、パンフレット、HP、ブログ、インスタグラムの充実を図っている。

②今後の方策

インスタグラムのアップデート、HPの見直し、高校生のバスツアー見学など、多彩なアピールを継続していく

（８）財務

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや適切…２、不適切…１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	④　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	④　３　２　１

① 課題・改善点

理学療法科および作業療法科は定員を十分に満たすことができなかったので、

次年度の学生募集にあたり更なる工夫が必要である。

② 今後の方策

入学者数の確保は、学校の財務基盤にも深く影響するため、毎年、入学定員を満たすよう広報と連携した今までのプロモーションの見直し、新しい戦略が継続して必要である。

（９）法令等の遵守

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	４　③　２　１
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	４　③　２　１
・自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１

①課題・改善点

（個人情報については学校全体で保護を図っている。特に個人データ、外部秘データ取扱いの注意は周知徹底、意識啓発を継続的に行っている。学生への個別連絡においても SNS 等は使用しないこととしている。自己点検・自己評価結果はホームページを通じ公開している。）

②今後の方策

（個人情報など運営上漏洩してはならない情報の管理についての規定を整備する必要がある。
自己点検・自己評価結果はホームページ上で公開を継続していく。
特にSNSについては十分なセキュリティ対策を講じる。）

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…４、ほぼ適切…３、やや適切…２、不適切…１
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④　3　2　1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　③　2　1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4　③　2　1

①課題・改善点

学校も学生も地域に受け入れてもらえるような地域社会と連携する取り組みを行っている。
学校全体で意識してボランティア活動を支援していたが、コロナの影響で今年度は積極的に活動を奨励できなかった。
就労支援事業所ヴィストから就労訓練生を受け入れている。富山市からの要請で妊婦へ腰痛防止指導教室「ままのわ」に職員を派遣している。

③ 今後の方策

コロナの状況によるが、地域からの要望・提案を受けられるシステムづくりを継続していくことや学生が主体的にボランティアに参加するよう意識付けていく。
地域住民対象講座については、担当教員の負担を考慮しながら、体系的に計画を立てて実施できるよう検討していく必要がある。